

国民健康保険保健事業の取り組み状況について

1 令和4年度の取り組みについて

(1) 糖尿病性腎症重症化予防事業の実施

① 受療勧奨プログラム・重症化予防プログラム

40歳以上75歳未満の被保険者に対し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って受療勧奨や保健指導等を行い、早期に医療介入することで糖尿病の重症化を予防します。

【対象者】

特定健診受診結果から下記ア～ウの基準により抽出します。

- ア) HbA1c6.5%以上
- イ) eGFR60ml/分/1.73m²以下
- ウ) 蛋白尿(+)以上

【実績】

(令和5年3月末時点)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度 (暫定)
受療勧奨のみ (上記アに該当)	該当者	24人	40人	21人
	受療者	13人	11人	1人
	受療率	54.2%	27.5%	4.8%
重症化予防(保健指導) (上記アかつイまたはウに該当)	該当者	5人	8人	3人
	受療者	1人	3人	0人
	受療率	20.0%	37.5%	0%

※平成30年度から該当となった人について、最長5年間の受療確認と受療勧奨を継続して実施しています。

② 治療中断者プログラム

糖尿病治療を中断している可能性がある被保険者に対し、受療勧奨を行う。

【対象者】

令和3年6月から令和4年5月までに経口薬や注射薬による糖尿病治療歴がある人のうち、最終の受診から6か月間、医療機関の受診が確認できない人

【実績】

(令和5年3月末時点)

	令和3年度	令和4年度
該当者	6人	15人
受療者	4人	—
受療率	66.7%	—

※令和4年度は、3月下旬に受療勧奨を実施したため受診確認できず。

(2) 重複・多剤服薬者に対する取り組み

【概要】

同一月に複数の医療機関から同じ薬剤の処方を受けている可能性がある人、または同一月に12種類以上の薬剤を定期的に受けている人への服薬通知(3か月分)の送付及び訪問指導の実施

【実績】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象者	重複服薬者	重複服薬者 多剤服薬者	重複服薬者 多剤服薬者
通知者数 (うち訪問者数)	100人 (10人)	187人 (23人)	409人 (36人)

対象者409人に対し令和4年8月下旬に通知を送付し、特に指導が必要と考えられる36人に対し薬剤師による訪問指導を実施しました。

効果検証した結果、223人(約54.5%)に処方の変更が見られました。通知前後の3か月で比較すると、数量ベースで352剤、金額ベースで約180万円の削減となり、推定削減金額は年間で720万円以上と考えられます。

(3) ジェネリック医薬品使用率向上の取り組み

【概要】

ジェネリック医薬品希望カードは新たに国民健康保険に加入した被保険者に配付し、希望シールは被保険者証更新時に同封し郵送しています。

ジェネリック医薬品を使用した場合の差額が大きい被保険者に、削減可能額を記載した差額通知を年2回送付しています。

【実績】

○差額通知

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
発送件数	2,397件	2,259件	1,750件
効果額	1,333,258円	883,917円	2,657,837円

※効果額は、保険者負担相当額

○ジェネリック医薬品使用割合(数量シェア)

	令和2年 9月診療分	令和3年 3月診療分	令和3年 9月診療分	令和4年 3月診療分
明石市	80.5%	81.4%	80.4%	80.8%
兵庫県	77.9%	78.8%	78.6%	78.7%

(4) 特定健診未受診者対策

【概要】

特定健診の未受診者に対して、過去の健診の受診歴や医療機関の受診有無などでグループ分けを行い、それぞれに最も効果的と考えられる通知を4種類作成し、受診勧奨を行いました。

【実績】

グループ	未受診者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B÷A)
① (健診受診歴あり・通院歴なし)	3,920人	990人	25.3%
② (健診受診歴あり・通院歴あり)	4,423人	1,203人	27.2%
③ (継続健診未受診者)	14,817人	476人	3.2%
④ (新規健診対象者)	6,540人	427人	6.5%
合計	29,700人	3,096人	10.4%

(5) スマホとスマートウォッチを活用した健康管理支援事業

【概要】

特定健診の結果で生活習慣病になるリスクが高い人を対象に、スマホとスマートウォッチを活用し、AIからのアドバイスを受けて自分で健康管理を行う手法を導入することで、これまで対面での保健指導を敬遠していた層にも生活習慣の改善に関心を持ってもらう。

また、ハイリスク者の生活習慣の改善を図り、糖尿病を含む生活習慣病を予防する取り組みにより医療費の増加を抑える。

【対象者】

令和4年度(10月分まで)の特定保健指導対象者・集団健診受診者でC判定(HbA1c・LDL・BP)があった人、糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者、糖尿病受療勧奨プログラム対象者のうち、参加を希望した人24名

【実績】

参加者の各数値の増減(事業開始→終了 比較)

	減少者数	増加者数	平均	最大値	最小値
体重	16人	1人	-1.5 kg	-6.3 kg	+0.3 kg
体脂肪量	11人	5人	-1.3 kg	-2.7 kg	+1.7 kg
筋肉量	10人	6人	-0.2 kg	+1.6 kg	-1.3 kg
歩数	7人	7人	+941歩	+6,127歩	-6,701歩

2 第2期データヘルス計画における各種指標の達成状況

(1) 自身の健康状態の把握

① がん検診受診率の向上（大腸がん検診）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度（暫定）
明石市	11.1%	11.7%	11.7%
兵庫県	14.7%	16.0%	—

② 特定健診受診率の向上（目標値40%）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度（暫定）
明石市	23.5%	25.5%	24.6%
兵庫県	30.9%	33.0%	—

③ 特定保健指導実施率の向上（目標値40%）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度（暫定）
明石市	23.3%	32.9%	25.5%
兵庫県	26.8%	28.9%	—

<全被保険者への健診受診に関する周知>

- ・国民健康保険料決定通知書送付時に健診パンフレット同封
- ・国民健康保険被保険者証送付時の案内書面の一部活用
- ・高額療養費通知書封入封筒の一部活用

(2) 生活習慣病の治療や改善（特定健診受診結果より）

① 血糖有所見者割合の減少（HbA1c5.6%以上の者の割合）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度（暫定）
	52.0%	52.5%	49.6%

② 血圧有所見者割合の減少（I度高血圧以上の者の割合）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度（暫定）
	26.0%	25.8%	25.9%

③ 重症化予防〔新規透析患者の減少〕（人工透析患者数（うち新規患者数））

	令和2年度	令和3年度	令和4年度（暫定）
	187人（16人）	189人（21人）	197人（19人）

(3) 骨折や筋力低下の予防

① 筋・骨格系疾患医療費の減少（疾病別医療費（入院））

	令和2年度	令和3年度	令和4年度（暫定）
	620,310千円	594,545千円	533,789千円

② 骨密度測定者数の増加（骨密度測定者数）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、令和2年度から骨密度測定を実施していません。

3 令和5年度の取り組みについて

(1) 各事業の実施について

令和4年度の取り組みを継続して実施するとともに、重複・多剤服薬者に対する取り組みについては、服薬通知の送付及び訪問指導に加え、電話による保健指導も実施します。

(2) 第3期データヘルス計画の策定

厚生労働省の指針により、被保険者の健康の保持増進を目的として保険者が効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、データヘルス計画(保健事業実施計画)を策定することとされています。

本市においては、平成30年度から令和5年度までを計画期間として第2期データヘルス計画を策定しており、本計画に基づき特定健康診査・特定保健指導事業、糖尿病性腎症重症化予防事業及びジェネリック医薬品普及促進事業等の保健事業を実施しています。

令和5年度は、第2期データヘルス計画の評価を行うとともに、令和6年度から令和11年度を計画期間とした第3期データヘルス計画を策定します。